

問 豊間根小学校トイレの全面改修を

答 山田小との環境の均一化を考慮



議員 豊間根 信 ことまね 豊間根 信 ことまね 議員 (政和会)

問 これまで管理については担当部署において今日まで様々な対応をされてきたことと感謝している。現状ではトイレの使用方法に一貫性が取れず戸惑いを覚えている状況もあるようだが、公共の施設として、人と環境にやさしいトイレ・浄化槽・排水路等の全面的工事をすべきと考えるが当局の見解を問う。

松葉教育長 これまで必要に応じて器具などを更新し児童の生活環境に配慮してきた。大規模な改修については、今後、内容や方法、財源確保などの課題の解決に向けて検討を進め、児童にとって良い



山田北インターフル化イメージ図
写真提供 三陸国道事務所

生活環境になるよう努めたい。

問 どのくらいの期間をかけて検討するのか。

芳賀学校教育課長 現段階では早期に進めていくとしか言えない。

問 早期にとのことだが、トイレは生活環境の点で大事なことでだと思っている。具体的に示していただければ一番いいと思うがどうか。

学校教育課長 来年度は山田小学校が新しくなり、船越小学校が統合し、山田小学校、豊間根小学校の町内2校体制となる。学習環境の均一化、公平性は考慮すべきと考える。よって、来年度のうちにはある程度の形を整えたいと思うが、今後国庫事業などの財源をどのように組み立てるかといった部分を具体的に検討していく。

問 斎苑前交差点の事故防止策は

答 注意喚起看板を設置する

問 斎苑から右折した車が対向車線側に進出し、その後正規の車線に入りなおすという大事故につながるように事例があった。当交差点への注意喚起表示について早急に対応すべきと考えるが当局の見解は。

佐藤町長 国道45号右側車線に進入禁止看板が設置されているが、斎苑出入口に注意喚起看板を設けるなど、事故防止を図っていく。

問 豊間根地区の下水道整備計画は

答 現時点では合併処理浄化槽を推進

問 豊間根地区の下水道整備については、当地域が広大な面積であることから、莫大な財源を必要とすることで中々実現されてこなかった経緯がある。今後の山田北インターフル化に伴い、経済活動・交流人口の拡大等による加速度的な町の発展には、しっかりとした

理念を持った環境整備が必要不可欠と思うが、当局の見解は。

町長 山田北インターフル化整備が進むことを踏まえ、今後の地区内における企業立地や人口動態を注視していく必要があると考えるが、現時点では合併処理浄化槽による個別処理を推進していく。